

海外幼児教育研修旅行 希望者の会 ご案内

ほかの学校が聞きに来る！
教育旅行雑誌にも注目を浴びた！

日音の海外幼児教育研修旅行
in オーストラリア



シドニーとメルボルンの幼稚園・保育園でショート・タイム実習をしよう!!

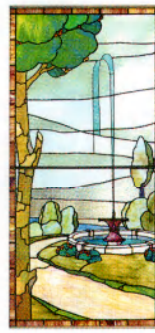
本校だからできる、オーストラリアの園児の手を取り、歌ったり、踊ったりする、造形遊びを楽しむ活動。それは責任実習のようです。

「海外幼児教育研修旅行 in オーストラリア」に参加し

ようと考えている学生は集合してください。

1. 日時 5月16日(火) 16:10~
2. 場所 8-1教室
3. 指導・引率・説明 小林志郎、穂田みづほ 他
4. ①旅行の目的と日程 ②訪問する幼稚園や保育園 ③園での活動内容
④オーストラリアのコーディネータ紹介 ⑤観光 ⑥自主訪問学習
5. ⑦ホテルと食事 ⑧旅費
6. 質問コーナー

当日いらした方にこの記事をお配りします!



学園記念ホール
ステンドグラス



Information From

Nichi-On

—創立 103 周年—

since 1903

The Campus News 5月号

2006. 第 118 号
編集発行 学園事務局

日本音楽学校 幼児教育科 学生向情報

◀5~8月の行事予定▶

1 年生	2 年生
5 / 3 (水) 憲法記念日(休校)	5 / 3 (水) 憲法記念日(休校)
4 (木) 国民の休日(休校)	4 (木) 国民の休日(休校)
5 (金) こどもの日(休校)	5 (金) こどもの日(休校)
12 (金) 教養講座『おはなしで遊ぶ』	12 (金) 教養講座『おはなしで遊ぶ』
30 (金) 幼稚園実習オリエンテーション	23 (火) 実習オリエンテーション
6 / 9 (金) 実習前授業終了	6 / 2 (金) 実習前授業終了
12 (月) ~ 23 (金) 観察実習(保幼)	5 (月) ~ 30 (金) 実習
26 (月) 授業再開	7 / 3 (月) 授業再開
7 / 17 (月) 海の日(休校)	17 (月) 海の日(休校)
21 (金) 夏期休暇前授業終了	21 (金) 夏期休暇前授業終了
22 (土) ~ 8/30 (水) 夏期休暇	22 (土) ~ 8/30 (水) 夏期休暇
8 / 31 (木) 授業再開(月曜日代替)	8 / 31 (木) 授業再開(月曜日代替)

平成 18 年度 活動ゼミ

ゼミ希望の学生は顧問の教員まで。

ゼミ名	活動日	活動場所	顧問教員
リズムゼミ	未定	未定	陸路 和佳
絵本の世界を探る	金	未定	並木真理子

平成 18 年度 活動サークル

変更になる場合がありますので希望の学生は部長まで。

サークル名	活動日	活動場所	部長	顧問教員
シアターサークル	月・木	9号館地下	小浜 健司(保幼2B)	諸井 泰子
	パネルシアターや紙芝居、愉快的なメンバーでやっています! 備考:木曜日は14:30~			
コーラスサークル	金	保育実習室	新田 陽子(保幼2C)	三小田美穂子
	楽しく歌を歌うサークルです。手遊びや、手話の歌もやります。			
ミストップ (造形サークル)	水	造形室	一野 美佳(保幼2A)	亀井 哲宏
	子どもが喜んで遊べるようなおもちゃ作り etc を目指します!!			
バンドサークル	月・水	小ホール	森谷 誠(保幼2C)	陸路 和佳
	テンション高くてもおもしろい奴ばかり!!みんなモノマネ上手☆ 備考:月曜日は2限と放課後 第3水曜日は無し			
ダンス(筋肉) サークル	木	中ホール 学外(戸越公園)	波木井 祐介 (保幼2B)	穂田みづほ 山本 直樹
	この学校で唯一の本格派肉体系サークル。ダイエットも可。			
サークルK	木	8-1 教室	町田 慶輔(保幼2C)	並木真理子
	保育します!誕生会します!リアル鬼ごっこもやっちゃいます!!			



行事予定は追加・変更になることがありますので学内掲示等に注意して下さい。



幼児教育科長

杉本 信

平成18年4月に幼児教育科長に就任しました。校長先生の教育リフォームや教育の質の向上が前進できるよう尽力していく所存です。

さて、新年度がすでにスタートしています。今年度の教育リフォームで特に新しくなったことをご存知でしょうか。保育や幼児教育において、セラピーに関わる教養的知識・経験が必要であると考え、本校では新しいビジョンを提案することにしました。その結果、保育士コースに「芸術セラピー」科目が新設されました。1年前期には、必修科目として「芸術セラピー概論」、選択科目として「臨床医学概論」、ワークショップ「芸術セラピーの技法I」、後期には選択科目として「芸術セラピーの理論と技法」、2年前期には必修科目として「パーソナル・デベロップメント」、選択科目としてワークショップ

「芸術セラピーの技法II」が開講されます。その中のワークショップ形式による「芸術セラピーの技法I」は夏休みに開講されることになっており、イギリスより Susan Hogan 先生を講師としてお迎えします。保育士としての専門知識や技能はいうまでもなく、教養としてのセラピーに関する知識・技能も身につけて保育現場にいかしてほしいと思います。学生諸君の積極的な授業参加を期待します。

また、今年度から1・2年生合同のホームルーム運営が始まりました。実習や就職のことなど、2年生から1年生に伝えられることがたくさんあると思います。1年生どうし、2年生どうしの横のつながりはもちろんのこと、ぜひ、1年生・2年生の縦のつながりを大切にしてほしいと思います。

新入生の皆さん、入学おめでとう。また保護者並びにご家族の皆さん、知人友人の皆さんにもお祝いの言葉を申し上げます。

本日は東京農業大学教授、元衆議院議員・栗本慎一郎先生をはじめとして来賓の方々をお迎えし、入学式を挙げることにになりました。大変、嬉しく、栄誉なことです。心からお礼申し上げます。

今日は三つのこととお話します。

昨年の入学式でこうお話をしました。

学生のためになると分かったことは、すぐにやってみる。これが日本音楽学校の教育哲学であると。

そういう姿勢でこれまで五年間にたくさんの教育リフォームを進めてきました。

ミニッツ・ペーパーの導入が最初でした。ミニッツ・ペーパーとはせいぜい1分間ぐらいの短時間で仕上げる点検ペーパーという意味だと思ってください。何を書くのかというと、今90分かけて行われた授業について、短い時間で答えていただくのです。

ちなみに、予習をしたか、授業の速さは、内容を理解できたか、教師の話し方は明瞭だったか、教師は重要な点を明確にしたか、質問したり発言をうながしたりしたか、という設問に五段階のエバリュエーションをしていただくのです。みなさんは四月の授業から早速体験します。

私たちのリフォームは、このほかに、皆さんが授業を採点する授業評価、AO入試、授業の助手をするTA制度、長期間かけて実習を経験するセメスター実習、禁煙という新しい文化の導入、授業の出欠を毎月学生にアナウンスする教務サービス、保育研究発表会の改革など数え切れないリフォームが行われてきました。

ほとんどのリフォームは予想した成果を上げることができました。それはとりもなおさず学生諸君の善意にあふれた挑戦があったからです。学校という教育システムは学生と教員と職員によって動かされています。

ところがこれまで日本の教育は、教職員が学生を管理する形態で進められてきました。あるときまでそれでよかったのです。学生が主役で

あるという考えが導入されたのはここ20年ぐらいでしょうか。

学生諸君の理解、協力がなければいかなるリフォームも成功しません。ひとえに皆さんの先輩たちの働きによって本校の教育改革は達成できたのです。教職員の努力でリフォーミングができたのですが、でもやはり主役は学生です。

禁煙への取り組みは、決して生易しい活動ではありませんでした。三年の間に、何人もの学生に停学を申し渡さざるを得ませんでした。今式に参列している二年生がリーダーシップを発揮してくれ、四年目にして禁煙ということばが日本音楽学校のキャンパスから自然消滅することを期待しています。

二つ目に私たちの教育姿勢についてお話ししましょう。

教育の機会はできる限り多くの青年に与えなければならない。若者を排除する教育姿勢はいけない。やる気がある限り、教育を受ける機会を与えよう。これが私たちの教育姿勢です。

私は教員の方々に、試験は何のためにやるのか考えてほしいと話しています。

前向きな試験のあり方として、理解してほしいと思う理論を理解する助けとなる試験、マスターして欲しいと期待する技能を習得する助けとなる試験、その上で学力や学習成果を判断できる試験を追究したいと思っています。

よく予想した試験問題が出た出ないと学生時代に喜んだり、悲しんだりした記憶があります。しかし根本を考えると、何が大切か教師が明らかにしなかったから起こる現象であり、教育は予想能力を高めるためにやっているわけではありません。

大事なら、大事だとはっきりさせる。学生みんなが大事だと信じ、予習する。だからあたりとかはずれとかがない。こういう試験があってもよいと考えます。

カリフォルニア大学ロスアンゼルス校 UCLA で、大学の先生に講義の仕方を教える教員用教科書 ABC's of Teaching with Excellence という本が出版されています。授業のやり方や試験のやり方の事例をまとめ、解説した中で、学生・教員ともに高い評価を与えた試験形式を紹介しています。どういう試験だと思えますか。

それは試験問題を学生が作成する形式です。出題の内容・意図・重要度を教員と学生で検討し、双方の意見をもとに試験問題を決めるのです。

此の試験を独創的で、かつおもしろくするため、ある人がさらに工夫を加えました。その改良点とは、教員が模範解答を作成し、試験の三日前に学生に配布するようにしました。その結果、この試験スタイルは大評判になりました。

参考書やノートを持ち込んでもよい試験であり、何を復習し、準備したらよいかわかる「試験を使った学習」であり、さらに自分の考えを書き加えることで点数が加算される試験であるのです。

日本音楽学校でもユニークな試験があっという、むしろあって欲しいと願っています。

こんなお話をしたのは、学校は今社会から開かれた学校へと転換することを求められているからです。最初に教育そのものがオープンになるよう求められました。その結果、学生による授業評価が唱えられました。本校は他の養成校や短大に先駆けて四年前に学生による授業評価に挑戦しました。これは画期的な教育リフォームでした。

今、私たちは教育をオープンにし、内外からの評価を受けるため、教育という仕事をガラス張りにする工夫をしています。

学生や同僚の評価に耳を傾け、潔く、見栄やプライドを捨てていい授業を作ろうとする姿勢を持ち続けようとしています。

今年、私たちはまた少し変化するでしょう。ご期待ください。

三つ目は昨日までは結構うぬぼれていましたが、教育に対する熱意について私が心を入れ替えた話です。

授業評価、シラバス、教育サービスということばに意外に反発しているのがイギリスの教員です。教員評価には決していい顔をしません。しかし昨日、この七月末に美術セラピーの授業をワークショップ形式でやってくれる DR. Susan Hogan から書類の入った郵便物が届きました。日本では四月に新学期が始まると聞いているので日本音楽学校の一年生のオリエンテーションに間に合うようお送りしますと書いてきました。

彼女、曰く。セレモニーやオリエンテーションで是非伝えてください。私が日音の学生とセラピーの体験授業を通して触れ合うことにわくわくしていると。

書類は全部で3種類ありました。「セラピーの体験的学習とは」という「授業のチラシ」A4で4枚と、授業の詳しいやり方と展開を書いた講義ノート、そして資料集でした。

Dr. Susan Hogan は日音での授業の段取りを昨年夏から考え続けて、新学期のスタートにあわせて送ってきてくれたわけです。私たちがシラバスを作成し、教材研究・開発に熱心ですが、今年の七月に集中講義を担当してくれる英国人の教師が私たち以上に準備をしていることを知って愕然としました。

昨年、彼女にあったとき、英国では評価だシラバスだと面倒くさい要求が多いのですが、日本でも同じですか、とたずねられました。日本は英国の教育の真似をし、英国は日本の教育のまねをしていますから、やり方は違ってもやっていることは同じですよ、と答えました。じゃ、文句を言っても仕方ないですね、いい授業をするよう努力します、と言いました。その本人がこんなに用意周到な準備をしていたとは驚きです。きっと Dr. Hogan はいい授業をしてくれるものと確信しています。

私たちの使命は、社会が求めている教育、学生が求めている教育、そして私たちが皆さんのためになると信じている教育をサービスすることです。皆さんが一日も早く本校にお慣れになって、やるべきことはやり、その上で自分の得意分野を開拓するために努力していただくことを願ってやみません。

本年度の入学式は二年生がこのように皆さんをお迎えする位置にいます。私には彼らが心地よい緊張感を漂わせているように見えます。心なしか頼りがいのある顔つきをしています。おそらく新入生が順調にキャンパス・ライフをスタートできるよう支援・指導をしたいと考えているからに違いありません。

二年生諸君、よろしくお願ひします。

